



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 サイボー株式会社

コード番号 3123 URL <http://www.saibo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 飯塚 剛司

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 藤井 孝男

TEL 048-267-5151

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	2,051	△8.7	283	△19.0	336	△6.7	183	△14.9
25年3月期第1四半期	2,248	△9.4	349	△17.8	359	△15.5	215	△2.3

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 153百万円 (△4.2%) 25年3月期第1四半期 160百万円 (△30.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第1四半期	13.73	13.70
25年3月期第1四半期	16.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	25,768	14,317	49.1
25年3月期	25,498	14,257	49.1

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 12,648百万円 25年3月期 12,523百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	3,930	△7.2	466	△28.5	494	△28.4	329	△21.3	24.64
通期	7,994	△5.7	1,029	△20.0	1,054	△19.7	615	24.5	46.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	14,000,000 株	25年3月期	14,000,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	648,240 株	25年3月期	648,240 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	13,351,760 株	25年3月期1Q	13,351,760 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復旧・復興が進む一方で、電力供給不安や原油高などによる景気先行きの不透明感が残るものの、この4月には日銀によるデフレ脱却に向けての「異次元緩和」、政府による「経済の成長戦略」等が発表され、大幅な円安による輸出企業の業績回復や株式市況の上昇など景気への明るい兆しが見え始めました。そのような中で、失業率の改善や個人消費の緩やかな回復が見られるものの、当社グループにおける事業環境は、急激な円安による仕入れコストの増加や法人需要の回復の遅れから引き続き厳しい状況で推移いたしました。

① 繊維事業

原糸販売は、長期化した円高による生産の海外移転が進み市況は低迷を続ける中で、産業用レーヨンフィラメント糸やスパンポリエステル糸の販売は伸びたものの、大幅な円安による仕入れコストの上昇により、主力の輸入ポリエステル糸やアクリル・スフの紡績糸が大幅な減収となりました。

アパレル関係は、引き続き地元企業との直需取引を開拓、百貨店取引も堅調に推移したことから、法人ユニフォーム、スポーツ関連商品、販促用ノベルティなど大幅な増収となりました。

カジュアル縫製品関係は、自社企画商品ユミカツラ（桂 由美ブランド）と当社パーソナルブランド（ミュゼ ジョワイユ）の百貨店販売は順調に拡大しているものの、量販店向け自社企画商品の卸売りや他社ブランドのOEM受注を縮小したため大幅な減収となりました。

刺繍レースを扱う栃木サイボー(株)は、刺繍レースファッションの人気の続いており、刺繍使いの商品の企画販売に注力して僅かな増収となりました。

この結果、繊維事業の売上高は9億80百万円(前年同期比5.6%減)となり、営業損益は前年同期比16百万円減少して10百万円の損失となりました。

② 商業施設賃貸事業

「イオンモール川口前川」は、集客面においては近隣大型商業施設に比べ「回遊型ショッピング」ができるという利便性がお客様に評価されており、引き続き安定した収益基盤を維持しております。また、二つの大型商業施設の修理費用が減少したことから増益となりました。

この結果、商業施設賃貸事業の売上高は5億68百万円(前年同期比0.9%減)、営業利益は3億6百万円(前年同期比12.1%増)となりました。

③ ゴルフ練習場事業

埼玉興業(株)の「川口・黒浜・騎西の各グリーンゴルフ」練習場は、子供ゴルフ教室の人気に見られる若年入場者の増加傾向が続いているものの、近隣の同業他社のリニューアルオープンの影響から入場者が減少して減収となりました。

この結果、ゴルフ練習場事業の売上高は2億46百万円(前年同期比6.1%減)、営業利益は33百万円(前年同期比37.0%減)となりました。

④ その他の事業

その他の事業においては、埼玉興業(株)の自動車教習所事業は、現在の在校生が卒業した時を持って当期中の学校閉鎖を決定しており、大幅な減収となりました。

自動車板金塗装修理事業は、平成25年4月1日付でネッツトヨタ東埼玉(株)の100%子会社(株)NTワークスに事業移管いたしました。

ギフト事業部営業課の慶弔ギフト品販売は、長引くデフレ経済を背景に社会不安による儉約や節約意識が高まり、低価格化や小口化が進んではいるものの、受注件数を増加させて増収となりました。ディアグリーン課の緑化事業も同様の背景から、主力のレンタル事業は大口径先のコスト削減の影響があったものの新規開拓先への拡販が進み、僅かな増収となりました。

インテリア施工事業の神根サイボー(株)は、一般先工事の増加に努めており、大口物件の完工が四半期末日以降になることから減収となりました。

この結果、その他の事業の売上高は2億55百万円(前年同期比31.4%減)、営業損益は前年同期比64百万円減少して43百万円の損失となりました。

以上の結果、当社グループの売上高は、20億51百万円(前年同期比8.7%減)、営業利益は2億83百万円(前年同期比19.0%減)、経常利益は3億36百万円(前年同期比6.7%減)、四半期純利益は、自動車教習所事業の事業撤退損を1億5百万円計上して1億83百万円(前年同期比14.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

総資産は、有形固定資産の減価償却が進んだことによる減少があったものの、現金及び預金が増加したこと等により前連結会計年度末に比べ2億69百万円増加して257億68百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金や未払法人税等が増加したこと等により前連結会計年度末に比べ2億10百万円増加して114億51百万円となりました。純資産は前期末の配当金の支払いがあったものの、四半期純利益の計上により前連結会計年度に比べ59百万円増加して143億17百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前連結会計年度末に比べ3億59百万円増加して33億22百万円となりました。

営業活動により得られた資金は、前第1四半期連結累計期間に比べ7億75百万円増加して6億40百万円となりました。これは主に売上債権の回収や法人税等の支払額の減少等によるものであります。

投資活動により支出した資金は、前第1四半期連結累計期間に比べ83百万円増加して1億17百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が増加したことや、投資有価証券の売却による収入が減少したこと等によるものであります。

財務活動により支出した資金は、前第1四半期連結会計期間に比べ2百万円増加し1億64百万円となりました。これはリース債務の支払額が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月17日の決算短信で発表いたしました、連結業績予想から変更は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,279,850	3,587,308
受取手形及び売掛金	984,416	898,049
有価証券	310,881	976,382
商品及び製品	591,657	614,391
仕掛品	14,755	20,381
原材料及び貯蔵品	44,240	40,423
その他	268,330	229,096
流動資産合計	5,494,133	6,366,033
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,065,776	9,927,146
土地	5,294,270	5,294,270
その他(純額)	101,400	173,637
有形固定資産合計	15,461,447	15,395,054
無形固定資産		
	37,563	32,085
投資その他の資産		
投資有価証券	4,248,541	3,718,368
その他	284,754	284,704
貸倒引当金	△27,486	△27,336
投資その他の資産合計	4,505,808	3,975,736
固定資産合計	20,004,819	19,402,876
資産合計	25,498,952	25,768,909

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	465,687	579,084
1年内返済予定の長期借入金	210,000	210,000
未払法人税等	12,903	121,237
賞与引当金	75,111	28,254
役員賞与引当金	5,850	1,462
その他	897,611	1,046,907
流動負債合計	1,667,164	1,986,946
固定負債		
長期借入金	805,000	752,500
退職給付引当金	187,783	192,045
役員退職慰労引当金	176,226	180,033
長期預り保証金	7,975,056	7,944,553
その他	430,015	395,486
固定負債合計	9,574,081	9,464,618
負債合計	11,241,245	11,451,565
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,402,000	1,402,000
資本剰余金	861,395	861,395
利益剰余金	10,388,889	10,481,307
自己株式	△359,818	△359,818
株主資本合計	12,292,466	12,384,884
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	257,051	285,647
繰延ヘッジ損益	△25,671	△21,643
その他の包括利益累計額合計	231,379	264,003
新株予約権	26,332	26,586
少数株主持分	1,707,528	1,641,868
純資産合計	14,257,707	14,317,344
負債純資産合計	25,498,952	25,768,909

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	2,248,293	2,051,644
売上原価	1,504,500	1,369,414
売上総利益	743,793	682,229
販売費及び一般管理費	394,028	398,871
営業利益	349,764	283,358
営業外収益		
受取利息	6,892	6,360
受取配当金	32,352	38,483
持分法による投資利益	6,815	26,104
その他	17,518	6,625
営業外収益合計	63,579	77,573
営業外費用		
支払利息	24,982	21,139
有価証券運用損	26,360	1,409
その他	2,006	2,372
営業外費用合計	53,349	24,921
経常利益	359,995	336,011
特別利益		
投資有価証券売却益	3,000	—
事業用資産等譲渡益	—	39,151
特別利益合計	3,000	39,151
特別損失		
固定資産除却損	—	20,949
投資有価証券売却損	3,404	—
事業撤退損	—	105,928
特別損失合計	3,404	126,877
税金等調整前四半期純利益	359,590	248,285
法人税、住民税及び事業税	105,380	130,869
法人税等調整額	22,146	△1,801
法人税等合計	127,527	129,068
少数株主損益調整前四半期純利益	232,063	119,217
少数株主利益又は少数株主損失(△)	16,712	△64,125
四半期純利益	215,351	183,343

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	232,063	119,217
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△68,809	14,670
繰延ヘッジ損益	1,661	4,028
持分法適用会社に対する持分相当額	△4,707	15,483
その他の包括利益合計	△71,856	34,182
四半期包括利益	160,207	153,399
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	144,444	215,967
少数株主に係る四半期包括利益	15,762	△62,567

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	359,590	248,285
減価償却費	181,489	164,364
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△150	△150
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△44,120	△46,856
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,737	△4,387
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	10,737	4,261
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△16,526	3,807
受取利息及び受取配当金	△39,245	△44,843
支払利息	24,982	21,139
持分法による投資損益 (△は益)	△6,815	△26,104
有価証券運用損益 (△は益)	26,360	1,409
投資有価証券売却損益 (△は益)	404	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△69,402	86,367
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△120,840	△25,060
仕入債務の増減額 (△は減少)	30,346	113,397
その他	106,610	132,054
小計	438,683	627,683
利息及び配当金の受取額	44,084	49,690
利息の支払額	△24,810	△20,967
法人税等の支払額	△592,674	△15,516
営業活動によるキャッシュ・フロー	△134,716	640,890
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	—	△40,000
有価証券の売却による収入	—	41,500
有形固定資産の取得による支出	△44,252	△83,682
有形固定資産の売却による収入	10	17
投資有価証券の取得による支出	△160,981	△110,870
投資有価証券の売却による収入	115,645	30,000
定期預金の増減額 (△は増加)	54,517	51,526
貸付けによる支出	△3,000	△31,000
貸付金の回収による収入	3,000	8,000
その他	1,063	17,461
投資活動によるキャッシュ・フロー	△33,996	△117,048
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	450,000	200,000
短期借入金の返済による支出	△450,000	△200,000
長期借入金の返済による支出	△52,500	△52,500
配当金の支払額	△90,925	△90,925
少数株主への配当金の支払額	△3,092	△3,092
その他	△16,187	△18,313
財務活動によるキャッシュ・フロー	△162,704	△164,830
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△331,417	359,010
現金及び現金同等物の期首残高	2,802,531	2,963,074
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,471,114	3,322,085

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円) (注)1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注)2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (千円) (注)3
	繊維事業 (千円)	商業施設 賃貸事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	1,038,863	573,731	262,896	1,875,491	372,802	2,248,293	—	2,248,293
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,100	64,291	—	66,391	63,186	129,577	△129,577	—
計	1,040,963	638,022	262,896	1,941,882	435,989	2,377,871	△129,577	2,248,293
セグメント利益	5,986	273,586	53,190	332,763	20,948	353,711	△3,946	349,764

(注) 1 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車教習所事業、ギフト事業、自動車板金塗装修理事業、インテリア施工事業等を含んでおります。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円) (注)1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注)2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (千円) (注)3
	繊維事業 (千円)	商業施設 賃貸事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	980,372	568,462	246,905	1,795,739	255,905	2,051,644	—	2,051,644
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,100	64,291	—	66,391	41,325	107,716	△107,716	—
計	982,472	632,753	246,905	1,862,130	297,230	2,159,361	△107,716	2,051,644
セグメント利益 又は損失(△)	△10,347	306,656	33,510	329,818	△43,161	286,656	△3,298	283,358

(注) 1 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車教習所事業、ギフト事業、インテリア施工事業等を含んでおります。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。